

各 位

2024年5月17日

株式会社 山と溪谷社

<https://www.yamakei.co.jp/>

重傷を負いながら13日間遭難した登山者はどうやって生還したのか。
『ドキュメント生還2 長期遭難からの脱出』刊行

インプレスグループで山岳・自然分野のメディア事業を手がける株式会社山と溪谷社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：二宮宏文）は、『ドキュメント生還2 長期遭難からの脱出』（羽根田治：著）を2024年5月17日に刊行いたしました。



長期間遭難して生還した登山者たち。彼らは遭難中に何を考え、どうやって生き延びたのか――。

長年にわたり山岳遭難事故の取材を続ける羽根田治氏の「ドキュメント遭難シリーズ」最新刊は、「長期遭難」がテーマです。

2016年10月、ひとりで大峰山・弥山を登っていた53歳の男性は、下山中に道に迷い、滑落して重傷を負ってしまいます。立つこともままならず、「ここで助けを待つしかない」と考えた男性は、傷の回復を図りながら救助を待ちました。しかし、一週間経っても10日経っても救助隊は現われません。そこで彼が取った行動とは――。

大峰での遭難は、遭難者本人が現場で綴った手記のほか、遭難現場を6年ぶりに訪問した原因検証、別の遭難で14日後に生還した登山者との対談を掲載しています。

また、2023年9月、北アルプス不帰ノ嶮で8日間遭難して生還した事例。2017年8月、北アルプス祖母谷で7日間遭難して生還した事例。2022年8月、熊本県国見岳で6日間遭難して生還した事例について、遭難者に話を聞いて、遭難の状況や原因を探ります。

そのほか、過去の長期遭難の事例も検証し、サバイバルの秘訣を考えます。

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-105 神保町三井ビルディング
TEL03-6744-1900 E-mail: info@yama-kei.co.jp
<https://www.yama-kei.co.jp/>